

昭和の時代を振り返る

ふるさと京極 120 年



昭和 15 年頃の脇方駅構内と貯鉱倉

# 昔日の脇方

—ワッカタサップと倶知安鉱山 50 年—

今から 119 年前の明治 31 年、きびしい自然の中で開拓に立ち向かっていた時代、ワッカ  
タサップ川の上流で鉄鉱石が発見され、採掘がはじまり、鉱山が開山しました。

脇方は、京極の市街地から東へ約 8 km のところにあり、鉱山とともに発展しましたが、昭  
和 44 年 10 月に鉱山が閉山し、昭和 45 年 10 月には国鉄脇方線が廃止され、その長い歴史  
の幕を閉じました。

**昭和の時代を振り返るでは、鉄鉱石の発見から現在の脇方の  
様子を写真と解説で振り返る「昔日の脇方」を開催します。**

**日 時 平成 29 年 10 月 17 日 (火曜日)**

**1 回目 午前 10 時から**

**2 回目 午後 6 時 30 分から**

1 回目、2 回目ともに内容は同じです。

**会 場 生涯学習センター湧学館 2 階視聴覚室**

配付資料準備の都合、事前にお申込みください。

**展示「脇方に鉱山があった頃」開催中**

昭和 22 年の脇方市街地を再現したジオラマ (模型) や  
採鉱地、校舎、鉄道、建物等の写真を湧学館 1 階ホールで展  
示しています。



ジオラマ (模型)